



2016年10月5日

株式会社 Tangerine

代表取締役 平井清人

Tangerine バーチャル・ビーコン対応に関するお知らせ

IoT/O2O プラットフォームリーダーの Tangerine 株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役：平井清人、以下、「Tangerine」）は、BLE ビーコンを統合管理する Tangerine ビーコンマネジメントプラットフォームにおいて、これまでの専用ハードベースのビーコン製品サポートに加え、タブレットやサイネージ本体にビーコン機能を追加できる「Tangerine バーチャル・ビーコン」のサポートを始めたことお知らせします。

1. バーチャル・ビーコンとは？

バーチャル・ビーコンとは、ビーコン電波発信機能を持ったアプリケーションで、WindowsまたはAndroid対応のデジタルサイネージ端末やPOS端末へインストールすることにより、専用のビーコンハードを必要とせずサイネージ端末自体がビーコン機能を提供することができる画期的なビーコンシステムです。

ハードウェアの追加コストが不要であること、電池切れなど運用の問題から解放されるだけでなく、デジタルサイネージと連携することにより、全く新しいO2Oサービスを実現することが可能となります。

2. Tangerine プラットフォームでのバーチャル・ビーコン対応について

Tangerine は、これまで BLE ビーコンをコアとする IoT/O2O マネジメントプラットフォームを企業及び地方自治体のお客様へ提供してまいりました。

Tangerine プラットフォームでは、これまで設置型ビーコン、Tag 型ビーコン、シート型ビーコン等専用のビーコンハードウェアをサポートしてまいりましたが、今回バーチャル・ビーコンも同一プラットフォームでマネジメントできるようになりました。

バーチャル・ビーコン対応機能は下記の通りです。

- ・ バーチャル・ビーコン対応のビーコン仕様：iBeacon、Eddystone URL（LINE ビーコンは今後対応予定）
- ・ バーチャル・ビーコンの死活監視を遠隔で実現
- ・ バーチャル・ビーコンとアプリ及び連動するコンテンツの紐付け管理



- ・ バーチャル・ビーコンの複数アプリでの共有管理

3. バーチャル・ビーコン連携の今後の取り組み

デジタルサイネージは今後一層の市場拡大が期待されるデジタル端末ですが、どのような人がどれ位サイネージコンテンツを閲覧したかの視聴データが取れないなど、広告メディアとしての課題がありました。

今回のバーチャル・ビーコンによりデジタルサイネージとお客様スマートフォンをスマートに連携することにより、これまで取得できなかったユーザの閲覧データや視聴ログデータを取得可能になり、全く新しい O2O サービスが創出可能となります。

Tangerine は、今後デジタルサイネージ端末及びサイネージコンテンツ管理ネットワークとの連携を進め、新しい O2O メディアの企画開発を進めてまいります。

なお、Tangerine は今回開発したバーチャル・ビーコンのデモンストレーションを CEATEC 2016 NEC レノボ・ジャパングループ観光ソリューションブースにて実施しております。

http://www.lenovo.jp/business/campaign/ceatec-japan2016/?ipromoID=jp_pub_top_espot_b4

CEATEC2016 へお越しの際は、ぜひお立ち寄り下さい。

【CEATEC2016 概要】

開催期間：2016 年 10 月 4 日 - 10 月 7 日 10:00~17:00

会場：幕張メッセ展示ホール 2 小間番号 2S92

4. 本件に関するお問い合わせ

Tangerine 株式会社 (<http://tangerine.io>)

住所：東京都渋谷区道玄坂 1-12-1 渋谷マークシティ W22 階

お問合せ先：info@tangerine.io